



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 三菱倉庫株式会社
コード番号 9301 URL <https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 秀親
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西田 太郎
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	214,245	11.3	16,159	2.4	12,865	△39.3	22,320	△9.3
2024年3月期第3四半期	192,452	△17.0	15,780	△12.9	21,204	△15.9	24,596	14.0

(注) 包括利益 : 2025年3月期第3四半期 △3,327百万円 (-%) 2024年3月期第3四半期 44,766百万円 (121.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.75	—
2024年3月期第3四半期	63.32	—

(注) 当社は、2024年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	621,934	380,346	60.5
2024年3月期	679,143	411,703	59.7

(参考) 自己資本 : 2025年3月期第3四半期 376,126百万円 2024年3月期 405,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2025年3月期	—	80.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	16.00	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2024年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しています。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期(予想)の期末配当金は80円、年間配当金は160円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	6.1	20,000	5.6	16,700	△31.4	30,600	10.1	82.84

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 1株当たり当期純利益は、「2. 配当の状況」の注釈に記載した株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
持分法適用関連会社：新規 1社 (社名) T a j i m i 合同会社 : 有
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	388,197,695株	2024年3月期	409,803,695株
2025年3月期3Q	22,773,604株	2024年3月期	30,807,930株
2025年3月期3Q	373,582,735株	2024年3月期3Q	388,445,387株

当社は、2024年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人
によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(企業結合等関係)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、引き続き消費者物価の上昇による家計への影響が懸念され、個人消費は一部に足踏みが残るものの、設備投資とともに持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、輸出入貨物取扱は堅調に推移した一方、人手不足やインフレを背景としたコストの増加が続きました。他方、不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善により空室率が減少するなど比較的堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、経営計画[2022-2024]に沿ってDXに取り組み、新手法を活用するとともに、営業体制を強化し、営業活動を一層推進しました。物流事業では、配送センター業務等の拡大、国際輸送貨物の取扱拡大等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト上昇に見合う適正料金の收受やコスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

また、医薬品物流事業の拡充を図るため、同事業を米国・英国で展開するCavalier Logisticsグループの株式を2023年10月に取得し、2024年3月期第3四半期末から連結に組み入れています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、物流及び不動産の両事業で収入が増加したため、全体として前年同期比217億9千3百万円（11.3%）増の2,142億4千5百万円となりました。また営業原価は、物流及び不動産の両事業で増加、全体として前年同期比196億8千8百万円（11.8%）増の1,867億2千4百万円となり、販売費及び一般管理費は、Cavalier Logisticsグループの顧客関連資産・のれん償却等により、同17億2千5百万円（17.9%）増の113億6千万円となりました。

営業利益は、物流事業で減益、不動産事業で増益、全体として前年同期比3億7千8百万円（2.4%）増の161億5千9百万円となりました。経常利益は、本日公表の「持分法による投資損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」とおり、当社の持分法適用関連会社でベトナムにおいて総合物流サービスを行うITL Corporationに係るのれん相当額の未償却残高全額を持分法による投資損失として計上したほか、受取配当金の減少、支払利息の増加等により、同83億3千8百万円（39.3%）減の128億6千5百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で固定資産処分益、投資有価証券売却益の増加があったものの、前年同期比22億7千6百万円（9.3%）減の223億2千万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
物流事業				
（倉庫事業）	50,051	51,489	1,438	2.9
（陸上運送事業）	39,033	41,927	2,894	7.4
（港湾運送事業）	18,157	17,235	△922	△5.1
（国際運送取扱事業）	50,037	59,527	9,489	19.0
（その他）	6,178	6,235	56	0.9
計	163,458	176,415	12,956	7.9
不動産事業				
（不動産賃貸事業）	23,425	24,195	770	3.3
（その他）	6,753	14,669	7,915	117.2
計	30,179	38,864	8,685	28.8
内部取引消去	△1,185	△1,035	150	—
合計	192,452	214,245	21,793	11.3

① 物流事業

- ・倉庫事業は、Cavalier Logisticsグループの連結組入れ、医薬品、食品の取扱増加等により、営業収益は前年同期比2.9%増
- ・陸上運送事業は、電機設備、液晶硝子の取扱増加等により、同7.4%増
- ・港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱減少等により、同5.1%減

・国際運送取扱事業は、Cavalier Logisticsグループの連結組入れに伴う取扱増加や、輸出入貨物の取扱増加等により、同19.0%増

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比129億5千6百万円（7.9%）増の1,764億1千5百万円となりました。また営業費用は、Cavalier Logisticsグループの連結組入れに伴う諸費用のほか、人件費の増加等により、前年同期比140億9千9百万円（9.3%）増の1,657億2千1百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、海上運賃単価の正常化等に伴う国際運送取扱事業の粗利益減少もあり、前年同期比11億4千3百万円（9.7%）減の106億9千3百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業の営業収益は、不動産（分譲マンション）販売収入の増加、芝浦ダイヤビルディング、神戸須磨シーワールドの新規施設稼働により、前年同期比86億8千5百万円（28.8%）増の388億6千4百万円となりました。また営業費用は、不動産販売原価の増加、新規稼働施設に係る不動産取得税等の一時費用計上により、前年同期比66億5千万円（31.2%）増の279億6千7百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比20億3千5百万円（23.0%）増の108億9千7百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 第3四半期連結会計期間の資産・負債・純資産の状況

総資産は、政策保有株式の縮減・上場株式の時価減少等に伴い「投資有価証券」が減少したため、前期末比572億8百万円減の6,219億3千4百万円となりました。

負債合計は、政策保有株式の縮減・上場株式の時価減少等に伴い「繰延税金負債」が減少したほか、償還に伴い「社債」が減少したため、前期末比258億5千万円減の2,415億8千8百万円となりました。

純資産は、政策保有株式の縮減・上場株式の時価減少等に伴い「その他有価証券評価差額金」が減少したため、前期末比313億5千7百万円減の3,803億4千6百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.8ポイント上回る60.5%となりました。

② 第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益、減価償却による資金留保等により、189億9千8百万円の増加（前年同期は250億1千8百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

固定資産の取得による支出があったものの、投資有価証券の売却による収入、固定資産の売却による収入等により、140億9千6百万円の増加（前年同期は299億1千6百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得による支出、配当金の支払、社債の償還による支出等により、374億7千7百万円の減少（前年同期は35億7千万円の減少）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（5億6千9百万円の増加）を加えた全体で38億1千1百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は546億3千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社の持分法適用関連会社でベトナムにおいて総物流サービスを行うITL Corporationに係るのれん相当額の未償却残高全額を持分法による投資損失として計上したこと等に伴い、2024年4月30日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細については、本日公表の「持分法による投資損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,015	57,560
受取手形及び営業未収金	41,227	42,786
リース投資資産	48	8,966
有価証券	2,000	—
販売用不動産	9,890	3,635
その他	7,248	9,105
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	119,404	122,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	129,257	131,192
機械装置及び運搬具（純額）	5,136	5,078
土地	130,545	126,442
使用権資産（純額）	8,574	8,202
建設仮勘定	13,870	851
その他（純額）	5,989	5,841
有形固定資産合計	293,372	277,609
無形固定資産		
借地権	7,722	7,722
のれん	6,162	5,500
顧客関連資産	20,334	19,757
その他	4,782	4,944
無形固定資産合計	39,001	37,925
投資その他の資産		
投資有価証券	213,457	170,494
長期貸付金	160	157
退職給付に係る資産	1,617	1,650
繰延税金資産	3,195	3,019
その他	8,992	9,097
貸倒引当金	△38	△37
投資損失引当金	△20	△7
投資その他の資産合計	227,364	184,372
固定資産合計	559,738	499,908
資産合計	679,143	621,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	24,201	20,759
短期借入金	29,948	30,942
1年内償還予定の社債	8,000	—
未払法人税等	8,045	7,513
その他	23,633	21,337
流動負債合計	93,828	80,553
固定負債		
社債	48,000	48,000
長期借入金	24,135	23,611
長期預り金	24,273	23,782
繰延税金負債	61,020	49,555
役員退職慰労引当金	48	30
退職給付に係る負債	7,663	7,780
リース債務	7,279	6,898
その他	1,190	1,376
固定負債合計	173,611	161,035
負債合計	267,439	241,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,319	19,134
利益剰余金	272,839	267,313
自己株式	△22,192	△19,793
株主資本合計	292,360	289,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,923	80,346
為替換算調整勘定	4,833	5,682
退職給付に係る調整累計額	1,309	1,048
その他の包括利益累計額合計	113,066	87,077
非支配株主持分	6,276	4,220
純資産合計	411,703	380,346
負債純資産合計	679,143	621,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	24,228	25,336
倉庫荷役料	16,017	16,777
陸上運送料	39,032	41,926
港湾荷役料	14,110	13,400
国際運送取扱料	49,941	59,474
不動産賃貸料	25,713	26,573
その他	23,408	30,755
営業収益合計	192,452	214,245
営業原価		
作業運送委託費	79,492	88,206
人件費	32,217	34,181
施設賃借費	8,285	8,406
減価償却費	11,355	11,864
その他	35,685	44,065
営業原価合計	167,036	186,724
営業総利益	25,415	27,520
販売費及び一般管理費	9,635	11,360
営業利益	15,780	16,159
営業外収益		
受取利息	229	334
受取配当金	4,341	4,010
持分法による投資利益	696	—
その他	669	341
営業外収益合計	5,935	4,686
営業外費用		
支払利息	435	626
持分法による投資損失	—	7,169
その他	76	183
営業外費用合計	511	7,979
経常利益	21,204	12,865

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
特別利益		
固定資産処分益	103	1,470
投資有価証券売却益	13,915	21,905
施設解約補償金	57	—
受取補償金	107	—
補助金収入	—	74
特別利益合計	14,184	23,450
特別損失		
固定資産処分損	253	482
固定資産圧縮損	—	74
投資有価証券売却損	10	—
投資有価証券評価損	67	—
特別損失合計	332	556
税金等調整前四半期純利益	35,057	35,759
法人税等	10,158	13,178
四半期純利益	24,899	22,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	302	260
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,596	22,320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	24,899	22,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,013	△26,665
為替換算調整勘定	2,674	1,111
退職給付に係る調整額	△31	△259
持分法適用会社に対する持分相当額	1,210	△94
その他の包括利益合計	19,867	△25,907
四半期包括利益	44,766	△3,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,317	△3,669
非支配株主に係る四半期包括利益	448	342

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,057	35,759
減価償却費	11,666	12,973
引当金の増減額 (△は減少)	△4	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	102
受取利息及び受取配当金	△4,570	△4,344
支払利息	435	626
持分法による投資損益 (△は益)	△696	7,169
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13,904	△21,905
投資有価証券評価損益 (△は益)	67	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△179	△1,352
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,414	6,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,128	△3,572
預り金の増減額 (△は減少)	3,590	1,249
その他	1,122	△5,522
小計	29,876	27,426
利息及び配当金の受取額	5,554	5,454
利息の支払額	△459	△622
法人税等の支払額	△9,953	△13,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,018	18,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△14,697	△11,001
固定資産の売却による収入	128	7,464
投資有価証券の取得による支出	△9,015	△5,992
投資有価証券の売却による収入	14,378	23,913
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△20,251	—
その他	△459	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,916	14,096
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額 (△は減少)	11,936	465
社債の償還による支出	—	△8,000
自己株式の取得による支出	△6,631	△14,354
配当金の支払額	△7,710	△11,251
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,589
その他	△1,164	△1,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,570	△37,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,103	569
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,365	△3,811
現金及び現金同等物の期首残高	62,297	58,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,931	54,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 自己株式の消却

当社は、2023年7月31日開催の取締役会決議に基づき、2024年4月12日付で、自己株式11,882,500株の消却を実施しております。

また、2024年5月24日開催の取締役会決議に基づき、2024年11月14日付で、自己株式9,723,500株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が45百万円、利益剰余金が16,596百万円、自己株式が16,642百万円それぞれ減少しております。

2. 自己株式の取得

当社は、2024年5月24日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において普通株式9,723,500株、9,999百万円の自己株式を取得しております。

また、2024年10月31日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において普通株式3,946,300株、4,316百万円の自己株式を取得しております。

なお、当社は、2024年11月1日付で普通株式1株につき5株の割合をもって株式分割を行っており、上記の株式数については、当該株式分割後の株式数を記載しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年10月2日に行われた当社の連結子会社であるProject Hermes Holding CompanyとCavalier Logistics Management II, Inc.、Cavalier International Air Freight, Inc.、DC Dyna, Inc.、Cavalier Logistics U.K. Limitedとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額6,804百万円は、会計処理の確定により260百万円減少し、6,544百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	24,228	—	24,228	—	24,228
倉庫荷役料	16,017	—	16,017	—	16,017
陸上運送料	39,032	—	39,032	—	39,032
港湾荷役料	14,110	—	14,110	—	14,110
国際運送取扱料	49,941	—	49,941	—	49,941
不動産賃貸料	167	5,731	5,898	—	5,898
その他	16,892	6,509	23,402	—	23,402
顧客との契約から生じる 収益	160,390	12,240	172,630	—	172,630
その他の収益(注) 3	2,481	17,339	19,821	—	19,821
外部顧客に対する営業収益	162,872	29,580	192,452	—	192,452
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	586	599	1,185	△1,185	—
計	163,458	30,179	193,638	△1,185	192,452
セグメント利益	11,836	8,861	20,698	△4,918	15,780

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,918百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,922百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Cavalier Logisticsグループの株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれん増加額は、「物流事業」セグメントにおいて、6,544百万円であります。なお、のれん増加額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	25,336	—	25,336	—	25,336
倉庫荷役料	16,777	—	16,777	—	16,777
陸上運送料	41,926	—	41,926	—	41,926
港湾荷役料	13,400	—	13,400	—	13,400
国際運送取扱料	59,474	—	59,474	—	59,474
不動産賃貸料	188	5,777	5,965	—	5,965
その他	16,311	14,033	30,345	—	30,345
顧客との契約から生じる 収益	173,416	19,810	193,226	—	193,226
その他の収益(注) 3	2,568	18,449	21,018	—	21,018
外部顧客に対する営業収益	175,985	38,260	214,245	—	214,245
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	430	604	1,035	△1,035	—
計	176,415	38,864	215,280	△1,035	214,245
セグメント利益	10,693	10,897	21,590	△5,431	16,159

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,431百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,439百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2025年1月31日開催の取締役会において、保有株式の一部を売却することを決議しました。

詳細については、本日公表の「投資有価証券の売却についてのお知らせ」をご参照ください。